



広報

2010 11 平成22年

発行／瑞穂町 編集／秘書広報課 毎月1回1日発行
〒190-1292 東京都西多摩郡瑞穂町大字箱根ヶ崎2335
TEL 042 (557) 0501 (代表)
ホームページ <http://www.town.mizuho.tokyo.jp/>

みずほ

人口と世帯

人口	33,698人	(2人増)
男	17,238人	(14人増)
女	16,460人	(12人減)
10月1日現在	世帯 13,701	(18世帯増)
()は前月比	外国人登録数	579人

No.586



緑の中で音楽会

10月17日にみずほエコパークでは、フリーマーケットおよび環境啓発事業が行われました。

芝生広場では、瑞穂青少年吹奏楽団による軽快な演奏が、イベントを盛り上げていました。

(関連記事15ページ)

おもな内容

瑞穂町は11月10日で70歳	2～3
第40回 産業まつり	11月13日(土)・14日(日) 4～5
みずほ伝言板	元狹山コミセンまつり ごみ会計 脳を鍛えるプログラム ほか 6～8
インフォメーション	親子で小麦まきに参加しませんか 都営住宅・町営住宅入居者募集 ほか 9～12
福祉	平成21年度介護保険の状況 保育園と 学童保育クラブの入所申込み ほか 13・16～19
教育委員会からのお知らせ	奨学金の申請について 地域探検ツアー フレッシュ名曲コンサート ほか 20～23

瑞穂町は11月10日で70歳

瑞穂町は、今年で町制を施行して70周年を迎えます。

昭和15年11月10日、箱根ヶ崎村、石畑村、殿ヶ谷村、長岡村を廃して瑞穂町が誕生しました。この年の10月1日現在で人口68,511人、世帯数11,172世帯という当時の国勢調査の結果が残っています。平成22年10月1日現在では、人口3万3,698人、世帯数が1万3,701世帯ですから、この数字から見ても、町の発展をうかがうことができます。

その後、昭和33年に埼玉県入間郡元狭山村の一部と合併し今日に至りますが、これまで戦中、戦後、高度成長期、バブル期とその破たんなどを経て現在の町があります。そこには郷土を愛し、必死に生きながら町を築いてきた先人の尊い働きがあったことを忘れてはなりません。

町制施行60周年からの10年間は、武蔵野・元狭山コミュニティセンターやみずほリサイクルプラザ、エコパークなどの各施設のオープンに加え、箱根ヶ崎駅舎および東西自由通路の完成

や残堀川の全面改修の終了をはじめとした基盤整備が進みました。また、米国モーガンヒル市との姉妹都市締結を契機として国際化を推進するとともに、青色回転灯装備車による防犯パトロール事業やメール配信サービスの開始による安全安心のまちづくりを推進するなど、町はさらに発展を続けてきました。

人間で言う「古希」を迎えた瑞穂町ですが、これからも町民福祉の向上に努めてまいります。



平成13年（2001）

4月 第3次長期総合計画スタート
耕心館オープン



生涯学習センターオープン

平成14年（2002）

1月 武蔵野コミュニティセンターオープン
9月 狭山遺跡発掘調査
11月 みずほリサイクルプラザオープン

平成15年（2003）

4月 緑の保全事業スタート
9月 役場窓口時間延長と電話予約サービスの試行開始
11月 箱根ヶ崎時計台の復元

平成16年（2004）

10月 家庭ごみ一部有料化戸別収集開始
12月 瑞穂町ホームページリニューアル

平成17年（2005）

3月 箱根ヶ崎駅舎および東西自由通路落成



▲落成式の様子

4月 子ども家庭支援センターひばりオープン
11月 みずほエコパークオープン

平成18年（2006）

7月 米国モーガンヒル市との姉妹都市締結



▲調印式はモーガンヒル市で行われました

11月 元狭山コミュニティセンターオープン

平成19年（2007）

3月 JRダイヤ改正で東京発箱根ヶ崎行増発
6月 容器包装プラスチック圧縮梱包処理施設完成
10月 生涯学習まちづくり出前講座開始

平成20年（2008）

2月 国道16号瑞穂中央立体完成
3月 残堀川整備完成



▲完成記念の残堀川ウォーキング

平成21年（2009）

7月 メール配信サービス開始
青色回転灯防犯パトロール事業開始

平成22年（2010）

3月 福祉バス運行開始
4月 ふれあいセンターオープン
7月 NHKのご自慢開催

60周年以降10年間のあゆみ

問合せ 企画財政課
TEL 557-7469